

デーリー東北

2025年(令和7年)9月19日(金曜日) (2)

特定技能1号10人取得

八工大でエンジニアプログラム前期修了式

外国人留学生、県内就職へ

八戸工業大(船崎健一学長)は18日、国内企業で就労できる外国人技術者を育成する、産官学連携の取り組み「外国人特定技能エンジニアプログラム」の前期修了式を同大で行った。受講したミャンマー人留学生10人が、国内企業で最長5年間働ける自動車整備と建設の在留資格「特定技能1号」を取得。今後、青森県内の企業で働きながら、永住可能な「特定技能2号」の取得を目指す。

(向屋敷明)



船崎健一学長(前列中央)から修了証を授与されたミャンマー人の留学生18日、八戸市

プログラムは昨年度に開講。受講者は半年間の学習で、日本で活躍するエンジニアとして必要な知識や技術を身に付ける。コースは自動車整備、建設、工業製品製造業、自動車運送業の四つ。後期は13人のミャンマー人留学生が受講する予定。

式では、船崎学長が「八戸での生活や本学での学びを胸に、特定技能分野の産業を支える人材として、さらに成長し、活躍することを願う」とあいさつ。

修了生を代表して、リン・ゾウ・カインさんが「これからの日本での生活では時間を守り、責任を持ち、信頼される人になりたい。家族、会社、社会に貢献できる人間を目指す」と抱負を述べた。

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。